

旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活用計画素案に対する意見提出と市の考え方について

- 1 提出期間 令和6年(2024年)2月1日(木曜日)～
令和6年(2024年)3月1日(金曜日)
- 2 提出意見数 5件(1通)
- 3 提出意見と市の考え方 以下のとおり

	提出意見	市の考え方
1	貴重な文化財を未来に継承するという考えに沿った、綿密で優れた計画案と思いました。建物や庭の維持管理だけでなく、広報活動につなげていく内容も、市民として共感を持ちました。是非、計画案に沿って旧中西家住宅の保存活用計画を早急に進めて頂きたいと思います。	本計画に沿って当住宅の保存活用に関する取組を着実に進めてまいります。
2	最近、SNSの広がりや日本各地の多くの地域で、インバウンド(外国人観光客)が急激に増加をしています。そういったインバウンドが来館したときの対応についても計画案に入れておく必要があると思いました。(外国語を介しての案内など。)来年度に関西万博が大阪で行われることで、インバウンドがさらに増加すると考えます。	外国人の観覧者に対しては、説明板の外国語表記や公開活用計画に記載しておりますガイドボランティア用端末の導入等を通じた対応を考えております。
3	現状で、吹田市内の小学校や中学校の先生は、旧中西家住宅の存在について知らない方が多いです。教員の研修の場として、年に数回でも活用することはできないでしょうか。教員は向学心が高い人が多いので、興味を持ってもらえれば自ずと、子どもたちを引率してくることになると考えます。	公開活用計画の活動・連携力の強化の中に小・中学校との連携について記載しており、教員の方に旧中西家住宅の価値を知っていただく取組から進めていきたいと考えております。

4	<p>広報活動に YouTube などの動画も活用されるかもしれませんが、そういった動画に、ドローンで撮影した建物や庭の空撮映像も入れていくのはいかがでしょうか。予算の問題もあると思いますが、是非、検討をしてみてください。</p>	<p>法令や周辺環境等を十分考慮したうえで、積極的に発信してまいります。</p>
5	<p>建物や庭の維持にも費用が今後もかかってくると思いますので、入場料を徴収するべきではないでしょうか。徴収しなくても維持や管理を行うことが今後も可能であるならば、無料のままが良いのですが。</p>	<p>文化財建造物の維持管理や保存に係る経費の財源については、常に課題であると認識しており、その確保の努力を今後も続けてまいります。</p> <p>観覧料の徴収につきましては、より多くの方に観覧していただくことで、同住宅の価値を知っていただき、ひいては建物の保存に対する理解につながるものと考えておりますので、現時点では考えておりません。</p>